

安 全 デ ー タ シ ー ト

【1】製品及び会社名

製品名	洗面鏡用くもり止め ヌリコ		
会社名	アイオン株式会社		
住所	〒540-0012 大阪市中央区谷町 2 丁目 6-4 (谷町ビル 3F)		
担当部門	コンフォータブルライフ国内・海外営業部		
電話番号	06-4790-7855	FAX 番号	06-4790-7858
緊急連絡先	品質保証部		
電話番号	0280-92-0721	FAX 番号	0280-92-1286

【2】危険有害性の要約

GHS 分類	物理化学的危険性	爆発物 可燃性または引火性ガス 支燃性又は酸化性ガス 可燃性液体 自然発火性液体 酸化性液体 可燃性固体 自然発火性固体 酸化性固体 金属腐食性物質	分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類できない 分類できない 分類できない 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類できない
	健康に対する有害性	急性毒性 (経口) (経皮) (吸入 気体) (吸入 蒸気) (吸入 粉塵・ミスト) 皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 呼吸器感受性または皮膚感受性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分外 分類できない 分類対象外 分類できない 分類できない 区分外 区分 2A 分類できない 分類できない 分類できない 区分 1A 区分 1(中枢神経系、腎臓) 区分 3(気道刺激性) 区分 2(肝臓、脾臓)
	環境に対する有害性	特定標的臓器毒性(反復暴露) 吸引性呼吸器有害性 水性環境急性有害性 水性環境慢性有害性	分類できない 分類できない 分類できない

ラベル要素
絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

危険
強い眼刺激
呼吸器への刺激のおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
中枢神経系、腎臓の障害
長期にわたる又は反復ばく露による脾臓、肝臓の障害のおそれ

注意書き 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後は手をよく洗うこと。

応急処置

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

保管

ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 施錠して保管すること。

廃棄

内容物／容器を(国際／国／都道府県／市町村の規則に従って)廃棄すること。

【3】組成・成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

成分	官報公示整理番号 (化審法)	CAS No.	含有量
ホ ^o リオキシエチレント ^o テシルフェニルエーテル	7-172	9014-92-0	非公開
アルキルホ ^o リグリコシ ^o	5-3641	110615-47-9	非公開
イソプロピルアルコール	2-207	67-63-0	10%
精製水	対象外	7732-18-5	

【4】応急処置

吸入した場合 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、保温して安静を保つ。状況に応じて医師の診察を受ける

皮膚に付着した場合 汚染した衣服を脱ぎ、触れた部分を多量の水かぬるま湯を流しながら石鹼を使ってよく洗い落とす。

目に入った場合 直ちに多量の流水で15分以上洗眼する。洗眼は瞼を指で開き全面に水がよく行き渡るように洗う。異常を感じる場合は直ちに医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合 直ちに水でよく口の中を洗う。水、牛乳又は食塩水を飲ませ吐き出させ(無理に吐き出させてはいけない)医師の診察を受ける。もし、意識がない場合は吐かせたり口から何も与えてはいけない。

応急処置をするものの保護 特に必要としない

医師に対する特別注意事項 なし

【5】火災時の処置

消化剤 水、粉末消火剤、泡消火剤等

特有の危険有害性 燃焼ガスに有毒ガスが含まれる場合がある。

特有の消火方法 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。消火作業は、安全眼鏡やゴム手袋等の保護具を、また状況に応じては呼吸用保護具を着用し、風上から行う。関係者以外は、安全な場所に退避させる。

消火を行う者の保護 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

【6】漏出時の処置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。
屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

回収、中和

空容器に回収し、ウエス等で拭き取り、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。

封じ込め及び浄化の方法・機材

危険でなければ漏れを止める。ステンス、ポリ容器等プラスチック製を用いる。

二次災害の防止策

情報なし

【7】取扱い、及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

【8.暴露防止及び措置】の項を参照。設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気

局所排気装置または換気装置設置が好ましい。

安全取扱注意事項

消防法等の関連法規に従う。取扱場所を火気厳禁とする。

接触回避

【10】安定性及び反応性の項参照

保管

適切な保管条件

消防法等の関連法規に従う。

高温、高湿、直射日光を避け、換気の良い冷暗所での保管が望ましい。

保管場所は火気厳禁とする。

【8】暴露防止措置及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会 設定されていない
ACGIH 設定されていない

設備対策

皮膚や眼を洗浄する設備を設ける事が望ましい。

保護具

呼吸用保護具

保護マスク着用

手の保護具

ゴム手袋着用

眼の保護具

側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡着用

皮膚及び身体の保護具

保護衣、保護長靴着用

【9】物理的及び化学的性質

物理的状态 形状、色

無色透明液体

臭い

アルコール臭

pH

8~10

融点・凝固点

データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲

データなし

引火点

データなし

爆発範囲

データなし

蒸気圧

データなし

蒸気密度

データなし

比重

0.96

溶解度

水、アルコールに可溶

オクタノール／水分配係数

データなし

粘度

データなし

【10】安定性及び反応性

安定性	通常の取扱では安定である。ただし、40℃以上の高温下での長期放置は品質劣化を起こすので避けること
危険有害反応可能性	常温では反応の可能性はない。
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

【11】有害性情報

急性毒性	(経口) 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外とした。 (経皮) データ不足のため分類できない。 (吸入) データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外とした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2の成分を10%以上含むため区分2Aとした。
呼吸器感作性または皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	区分1Aの成分を0.1%以上含むため区分1Aとした。
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分1(中枢神経系、腎臓)に該当する成分を1%以上含むため区分1とした。 区分3(気道刺激性)に該当する成分を20%以上含むため区分3とした。
特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分2(脾臓、肝臓)に該当する成分を1%以上含むため区分2とした。
吸引性呼吸器有害性	データ不足のため分類できない。

【12】環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし

【13】廃棄上の注意

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い、事業者が自ら処理するか、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し処理する。

【14】輸送上の注意

国連分類	該当しない
国連番号	該当しない
	熱源、着火要因となるものとの接触防止を確実に。高温、高湿、直射日光の暴露などの外的影響を受けないための手段を講じる。雨水による接触を避けるための防水カバーなどで覆って輸送する

【15】適用法令

労働安全衛生法	通知対象物質(57条の2 イソプロピルアルコール 10%)を含む。
消防法	該当しない
化学物質管理促進法(PRTR)	該当しない
船舶安全法	該当しない

【16】その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、法令の改正や新しい知見により改定することがあります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特別な取り扱いをする場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。
記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。